

6. サウンディング調査の実施について

(1) 実施目的

新道の駅鳥海では、官民連携手法による整備を計画している。官民連携手法による公共施設整備について民間事業者による評価・感想・意見等を得ることで、本事業の方向性と今後公表する要求水準内容への反映を行うことを目的に実施する。

また、**現運営事業者の機能強化が期待されるパートナー企業となりうる事業者とのマッチング**を目的に実施する。

■調査の視点

- ・事業の市場性や有効性、事業内容のアイデア等に関する意見・提案
- ・事業者が参加しやすい条件等に関する意見
- ・事業者の参画意向、そのための判断材料の内容

(2) 実施フロー

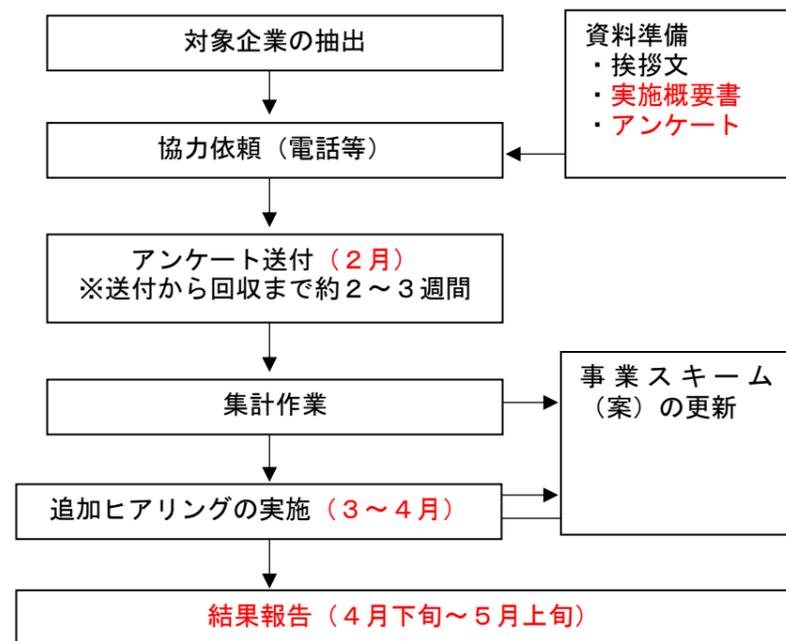


図 サウンディング調査実施フロー

(3) アンケート内容

①事業の市場性や有効性、事業内容のアイデア等に関する意見・提案

	概要	目的	
設問1	導入機能・規模について	・町で計画している施設機能、規模は適切か、過不足が想定されるか	施設内容の妥当性を検証
		・その他、望ましい導入機能の案	施設内容への反映
設問2	市場性の評価について	・売上高や入込客数の期待	需要予測の考え方
		・売上・入込を伸ばすうえでの課題はあるか ・そのうち、町に求めること・取り組みは何か	官民連携の役割分担・リスク分担へ反映

②事業者が参加しやすい条件等に関する意見

	概要	目的	
設問3	民間活力導入の有効性について	・民間活力導入の有効性は高いかどうか	事業者手法選定へ反映
設問4	事業者手法について	・事業者先行選考方式について貴社の考え方（適切か、望ましくないか、課題は何か）	
設問5	事業期間について	・設計・建設期間、開業準備期間、維持管理運営期間	事業期間設定へ反映
設問6	運営事業者へ求めるポイントについて	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の業務範囲として適切か ・事業者に求める視点例 <ol style="list-style-type: none"> ①自立・持続可能な経営と、確実な管理体制の構築を図ること ②道の駅に限らず、遊佐・環鳥海エリアの地域振興に関する総合プロデュースを主体的に行うこと ③登山者への有益な情報と安全確保の取り組みをアピールすること ④地場産品取り扱いの中心となり、例えば首都圏など遠方の市場への売込や商取引を橋渡しするような仕掛けづくりに積極的に取り組むこと（コネクターハブ） ⑤これからの世代の視点での賑わいづくりに積極的に取り組むこと（SDGs） を実現する上で、町に求めること 	事業者選定のための公募条件・募集テーマの視点へ反映

③事業者の参画意向、そのための判断材料の内容

	概要	目的	
設問7	参画意向について	・本事業への関心はあるか（参画したい、条件が整えば参画したい、参画の意向はない）	ヒアリングの実施有無
		・どのような条件であれば参加するか	官民連携の役割分担・リスク分担へ反映
設問8	その他	・意見や質問	

(4) 調査対象企業

①建設事業者（町内・酒田市内）

- ・町内及び酒田市内の事業者を対象とする 3社程度

②全国建設事業者

- ・道の駅整備事業では、建設事業に従事する事業者は地元地域に拠点を置く事業者となっていることから、本検討においては全国建設事業者へのサウンディング調査を実施しない。

③町内運営事業者

- ・収益施設を運営している町内事業者 3社程度

④当事業に関心があると思われる事業者（推薦）

- ・庄内・酒田エリアに拠点がある、または縁がある事業者 5社程度

⑤全国規模で道の駅の運営事業に関与している運営事業者

- ・道の駅の運営事業に直接関与し、拠点が複数個所にある企業 4社程度

⑥金融機関

- ・山形県内における金融機関 3社程度

アンケート調査は計20社程度を想定